

文科省の金子補佐が資料 6-3 (APRSAF-16) を 10 分程で説明した後、16 分程の質疑応答があった。

池上委員長: エエト、私実は今回、コーチェアって事で、行って参りました。で、今回は 2 年前のインドの時に比べますと、それ程緊張感はなかったんですが、矢張り中々難しい、斯う云う事を進めるのは中々難しいナアと云う印象で帰って来ております。で、あの、タイにつきましてはですネ、TEOS って云うのがありまして、で、色んな処で TEOS で撮った写真をですネ、展示しておりますですネ、で、タイも或る意味ではあの、自分達がコントロールできる衛星が上がったと云う事を非常に喜んでるって様な雰囲気を感じる事が出来ました。で、先程ご報告がありましたのはですネ、夫々のスタンディング・コミッティーってんですか、あの、ワーキンググループの報告だったんですが、其れ以外に APRSAF のいわばハイライトの一つとしてですネ、各国の現状報告と云うのが御座います。で、其れを聞きますと各国でどう云う様な事が此の一年間で行われたかって事が分かる訳で御座いますけど、一寸残念だったのは中国からはなかったと云う事と、インドの方もリモセンの話に触れる様な感じで御座いますですネ、もう少し色々聴きたいナって云う様な気持は御座いました。で、エエ、今回あの戦略本部の方からも話が有ったんですが、今回の基本計画をもう一度よく読みなおしてみますとですネ、日本の衛星開発の目標或いは目的、九つ挙がって居りまして、其の内の一番最初に、

アジア等への防災等々への貢献てのが挙がっておりますですネ、ですから、読み直してみても、基本計画は或る意味で随分踏み込んだ事言ってるナって云う感じを、私なんか持ったんですが、あの、やっぱりアジアを第一に考えて色々やってくって云う事はですネ、日本の国際の場での宇宙戦略としてはですネ、適切な方向じゃないか¹って云う風に思いました。で、後はですネ、色々報告があったんですが、NASA の方からも報告が御座いまして、で、東南アジアとはまあ、余り積極的にはやって、今迄は居なかった²って云う事の様なんですけど、何か 100 位アグリーメントがあって、其の内の 50 以上は日本、特に JAXA のアグリーメントだと云う事を言ってますですネ、あの、未だ、此の時は例の大統領教書が出る前だったんですけれど、少なくとも現

¹ 一番目の項目だから「第一に考える」と結論付けなくても良い様に思う。宇宙戦略として重要なのは、我が国が習得すべきと考える技術を研鑽する為のプロジェクトに対し、他国から批判が出ない事であろう。それには、日本の地理的な条件から、東アジアと東南アジアに目を向ける事が大切で、「近攻遠交」の原則に照らしても、重要な貿易海路を考えても、東南アジアとは友好を深めるのが必要になるのではないだろうか。此の様な理性的な観点で東南アジアに接するなら良いが、情緒的に判断した言葉である可能性が否定しきれない処に不安を感じる。

² 米国の戦略或いは外交構想は、世界全体を視野に入れたものであり、東南アジアの重要性は他の地域より低いと考えていて当然ではないだろうか。

時点では東南アジアに対してそれ程積極的になって云う様な感じにはなっていないと云う風に感じました。それから後、個別ではあの、オーストラリアがですネ、専ら「はやぶさ」が上手く行くかどうかって話題になりましてですネ、そう云う意味ではオーストラリア、次期オーストラリアで開催予定なんですけれど、意気投合する場面が幾つか御座いました。是非「はやぶさ」はチャンと帰って来て欲しいと云うのが、我々とオーストラリアの両方の期待³って云うか、願望で御座います。それから後、全体について各国がですネ、夫々宇宙についてはですネ、段階が違ってる訳なんです、前回以上にですネ、夫々の国が小型衛星なら上げる事が出来るんじゃないかと云う事で、小型衛星に非常に興味を持っていると、それからもう一つはまあ、当然の事なんですけれど、開発途上国にとっては人材育成が一番重要⁴であり

³ 宇宙科学、宇宙探査に対する憧れと云う点では、日豪が「意気投合」してもおかしくはないが、其れは世界各国が意気投合出来るものだろう。オーストラリアは寧ろサンプルリターン機の地上回収に関心があるので、(不確かではあるが、オーストラリアが回収場所に選ばれていたと記憶している。其の為他国とは違って強い興味を持つのだろう。)至極当然の事ではないだろうか。

⁴ 「当然の事」と云う程当たり前とは思わないが、大切に思う事に一つであろう。ただ、其の役割を宇宙利用が果たすのか、家電や交通機関(自転車、オートバイ、自動車、鉄道)が果たすのか、議論の有る処だろう。家電や自動車など民間企業が工場進出しているが、部品の現地生産能力が大きな課題なのである。

ましてですネ、ですからその小型衛星を持ちたいと云う事で、それと同時に将来に向けての人材育成を国としてやっていきたいと。其の辺をこう上手く日本が受け止める様な形で、STAR 計画なんかも行けば良いんじゃないかと云う風に思ってますが、まあ、STAR 計画についてはどう云う風に展開するかってのは、まあ、今後の課題で、今ん処は未だはっきりした事は言えない様な状況です。で、もう一つは今あの日本の強みと云う言い方をしますと、或いは日本が開発途上国にあの、サービスと云う風に言って良いかどうか分かりませんが、色々出来るメニューとしてですネ、ISS の利用⁵ってのがある訳ですヨ。ですから其の辺はもう少し ISS を利用して貰うと云う事で、各国、開発途上国との関係をもっと深めて行くと云う事が一つあるんじゃないかと。それから今、打上げを予定して居ります準天頂衛星、アレはまさしくそのアジアの上を飛んでる訳でありますから、しかもアレはあの、科学技術衛星って云う事になってるんで、色んなトライが出来る訳でありましてですネ、是非あの準天頂衛星、或いは WINDS との合わせ技って云う風になるかも知れませんが、あの、東南アジアの此処のメンバーの国が積

⁵ 部品生産基盤の無い国々に ISS の利用を促して、東南アジアの国々は何をどう人材育成に役立てるのか、我が国は其れを通じて何を得るのか、狙いがもう一つ分からない。其れ等の国々が日本に依存しなければ立ち行かなくなる事を狙うのであれば、其の様な計画には賛同しかねる。宇宙活動による覇権の達成を考えている国は今や希になって来ている。

極的にのる様な事を考えたら良いんじゃないかって云う風に思いました。まあ、何れに致しましても、宇宙全体がですネ、色んな処であの、今動き出しておりまして、で、あの、中国も APSCO って云う形でやってると。で、国連の方は昔から COPUOS って形でやってると。まあ、インドの方は未だ国内の開発に一所懸命って云う状況なんですけれど、それこそ**国際的な視野**で⁶、先程金子君の方からも話がありました様にですネ、今後どうするかって事、色々考えてかなきゃいけないんじゃないかって様な印象を持ちました。私の方からは以上です。...何か？ (以上で 5 分余が経過)

青江: ア、良いですか？ あの、此の 4 頁に在る「今後の方向性」って云うのは、まあ、ザックリ言やあ斯う云う事だと思うんですけどもネ。しかし、一番最後のパラグラフに書いてある様な斯う云う風な事って云うのは、其れは、そう云う大きな

⁶ 「国際的」と云う言葉でどんな方向を示そうとしていらっしゃるのか分からないが、国際関係と日頃の近隣との関係と何等変わる事ではないだろう。我田引水の攻め合いと、善意の支援の気持の均衡点で物事が進んで行く。国際社会の中には善意のお節介に陥りがちな国、得てして我が田に水を引きたがる国があり、国に依って「当たり前」が違うので、話し合ってみてさえ分からない事が多い。常識力の及ばない程度が違うだけではないか。又、其の様であるからこそ支援を受ける側は支援者の意図が分からないうちは様々な疑いを抱くのではないだろうか。

此処で使われた「国際的」は、「善意の貢献」だけを意味している様であり、好意は受けて当然と思っている様で心配である。

効果が生じる様になれば、其れは其れで大変結構な事だと思いますけど、恐らく**其の前に、極々素朴に、ホントに例えば、ALOS で言えば防災に、「アア、役に立ってるな。」って言って、各国に実感して貰える状態になる事、此れが多分ある⁷**んだと思いますネ。そう云う事があった上で国益だとか何とかカンとかと云う話に、まあ、繋がって来る。だから先ずは、その一、まあ、ALOS にしろ ALOS-2 にしろ、まああの、地球環境観測にしろ、其の国々にとって役に、大変有用なものだって云う実感を持って貰える状態にする事、と云うのが先ずあるんだと思うんですネ。それで、其の時に、此の、基本計画は明確に 3 時間とか 12 時間とか、何とか書いてあるんですネ、アレ。アジアの国々の。それで、所謂届け先は防災機関ですヨネ、多分。其れを「おやんなさい」と言っとる訳ですネ工、基本計画は。ですから、其れを踏まえると、今の ALOS のデータは、どう云う形ですネ工、まあ所謂あの、夫々の国で流れて行ってるのかという実情、此れを前から「調べられませんか。」と、「きちんとフォローできませんか。」と云う事を言っとるんですけど、「中々難しい。」と、斯う云う事なんですけれどもですネ、そのまあ、此の、斯う云った粹済みをより効果的に持ってく為には、其処の処の実情が分からないと、どうにもならんんじゃないかと云う風に思うんですヨ。

⁷ もう一つの前段階は「下心の危惧の解消」だろう。此方が熱心になればなる程、相手は猜疑心を募らせるものである。急がずにゆっくりと進めるのが良いだろう。

池上委員長: 其れについては何かありますか? 金子さんの方は、
或いは松尾さんの方に。

金子補佐: 当にご指摘の通りであると思っております。で、あの、
其れを進める為には、矢張りあの、まあ、現地に、まあ、当
該国の夫々の地域と云うか、まあ、此れは繰り返し繰り返し
此処の場でも議論されてる事になってしまいますが、現地
の実情に応じて、その、現地でホントに具体的に欲してい
る、そのまあ、場所に依ってもエリアに依っても事情が異な
りますので、此処の事例をですネ、つぶさにケースバイケ
ースで洗って行って、で、何がホントにボトルネックになっ
てるのか、何がハードルなのかと云うのを、此処のケース毎
に見て行く必要があると云う風に思ってます。で、特にあの、
全てについて網羅的に先ずは出来る訳でもないの、今、
可能性が幾つか指摘されてる様な、あのまあ、比較的可能性
が見えてる様な部分から中心に、ケースバイケースで洗
い出して行くと云う作業が先ず必要なんじゃないかと云う風
に思って御座います。

青江: 夫々斯う、追うのは中々現実問題としては大変かも知れな
いですがネエ。まあ、そう云う事に於きましてネエ。あの一、
アレなんですけども、一方、此れは日本の本部の方にお願
いをする事なんかも知れんけれども、本部は基本計画作っ
てああ云う風に言っているから、斯う云った場を使って
あの基本計画が描いている様になる様にまあ、イニシアテ
ィブをとる責任もある訳でして、其れは何かと言いますとネ、
その一、日本の所謂文科省だけじゃなくって、例えば防災

で言えばですネエ、防災に関する各省があるんだと思いま
すけど、此の APRSAF と云うものを使って、そう云う日本の
国内も此の APRSAF と云うものを効果的に使って、アジア
の防災に役に立てるんだって言いましょうかネ、其の国内
の各省のまあ、協力体制とでも言いましょうかネエ、そう云
った事をチャンとイニシアティブを取って貰ったら⁸どうだろ
うかと。其れが延(ひ)いては多分、そう云った各省の例え
ば防災を担当してる部局は、やっぱり、例えば相手国との
間の協力関係を持つと思うんですヨネ。其れが動き出
すと言いますかですネ、先ずは、日本の国内で此の
APRSAF を斯う云う風に使って行くんだと言いますか、そ
れで其れを、文科省だけじゃなくって、防災に関係する実
業を持つてる処も一緒にして行くように、まあ、一年掛けて
やって頂いたらどうだろうかと思えますけどネ。

松尾参事官: 宜しゅう御座いますか。仰る事、其の通りだと思いま
す。従ってあの、金子からも今申し上げましたけれども、今
やってる事が一体どうなってるのかと云う実情を出来るだけ
把握する。其の上で、夫々の取組が、我が国全体、文科省
JAXA と云うテリトリだけではなくて、我が国全体からして何
がターゲットであるべきなのかと云う事をハッキリした上で。
で、あの、宇宙外交の全体的な情報共有をする取組は多少
あるんですけども、その、バクッと APRSAF だから全体

⁸ 日本国内の役割分担として、「宇宙に係る活動であるから、文科省又は宇宙開発戦略本部が先導する。」のだろうか。「外交政策の問題だから外務省が先導する。」のだろうか。

的に協力してくれと言っても其れは中々動かないところもあるので、目的を設定して文科省 JAXA で出来ない事は何で、其処を、何処にどうお願いするのかと云う事をハッキリして、具体的をお願いを申し上げて行くと、斯う云う取り組みをしてくのかナと思ってます。で、其の思いが当にこの最後のパラグラフで表している心算で御座います。

池上委員長: 其れはもう、是非今後の火急な課題としてネ、色々検討して行きたいと思えます。ただあの、名譽の為に言っときますけれど、あの、開発途上国の人はですネ、やっぱり日本の ALOS 何か非常に感謝してるんですヨネ。確かに 2 年前と比べると相当使われる様になってますヨネ。僕は 2 年前に、その、インド行った事があるんですが、あの時に比べますと日本のリモセン技術にしてもですネ、で、データも色んなところに行ってるって云う事で、ですから、センチネル・アジアについて言えば矢張り相当進んだ⁹と云う、私、印象持ちましてですネ、ですから、あの、やっぱり兎に角良くやっていると。云う事は認めて頂きたい。

青江: あのですネ、いや其処はもう、其の通りだと思えます。あの、うんと進歩したんだと思うんですネ、あの、APRSAF の活動自身も非常に進化をしないと云う事だと思うんですヨネ。で、感謝もされとる。もう一寸欲張って言えば、感謝をしてくれとるのがですネ、例えばまああの、インドネシアで言えばラパ

ンの人が感謝してくれとると、云う事に終わってるんじゃないかと云う心配がありまして、その一、其れじゃあなく、当に此の共同...に、最後のステートメントですか、あの一、「防災機関による利用が増えて行く事を強く希望する。」と書いてある訳でしょ。それで、防災機関乃至其処の工エト、実際に斯う、あの、住民の人達が、「アレのあの、「だいち」に依ってうんと助かったネ。」と斯う云う風に思ってくれると良いナアと、もう只管(ひたすら)其れだけなんですネ。

池上委員長: ハハ、成程ネ。

青江: あの、感謝してくれてんのは、感謝してくれてるんでしょう。

池上委員長: ですから、今のお話矢張りその、個別ではですネ、非常に感謝されてるんだけど、国としてネ、国の宇宙外交って云う風に言って良いのかどうか一寸分らないんですが、其処はどうなってるかって云うのはですネ、私もネ、勿論やる事が沢山あるんじゃないかと云う印象は持ちました。要するに、日本の国としてじゃあ次に何をやるうとするのってのはどうもやっぱりムニャムニャ。で、もう一つはですネ、やっぱり 16 回も良く此のフォーラムをやって来たなど。多分あの、東南アジアでですネ、色んな人が或る意味では自由に集まって議論する場って云うのはあの一、特に宇宙関係で言いますと APRSAF ぐらいしかないんじゃないかと。ですから、其れは大きな日本にとっての財産でもありますしネ、其れを如何に国としてって云う方向で、あの、上手く活かしてくかって事が、何か非常に大きな課題じゃないかって感じが致しました。.....他に、どうぞ。

⁹ 支援を受ける国々が最も危惧しているのは、支援する国の下心だろう。其れが好ましかからざるものではない事を確認する迄には長い時間を要する事を如実に表しているのではないだろうか。

森尾: エエト、いや、今のに比べたら一寸小さな問題なんですけど、最後のまあ、エエト、青江先生が仰った最後の 4 頁の最後の 4~5 行のところですネ。多分此の文章読むと、金子さん随分苦労して、言わんとする処を纏められたんじゃないかと、気持は分かるんだけど、日本語として一寸おかしいんじゃないかなと云う様に思うんですヨネ。あの、最後の 4 行位読み上げますと、「本会議を地域内での宇宙協力の場から、(中略)我が国の宇宙外交を展開する場として、(中略)一層発展・活性化させていくこと…」と云う、まあ、骨子ですネ。で、「本会議を」って云う主語に対してもう一つ「本活動」ってのが最後の処にまた入ってるんで、**此れどっちが主語なのか**¹⁰みたいな、アレがダブってる様に思うんですネ。それから、「**世界最高水準の技術力のアピール等による我が国産業の発展への対外活動**」っての、一寸文章として複雑過ぎ¹¹て、「我が国産業の発展の為にやっける対外活動」を、**此の全体文章の主語は多分文部科学省なのか何か分かりません**¹²けど、まあ、「我々がもっと積極的

に**支援**¹³を進め、」って云う様な意味だと思っんですネ。だから、何か分かり難いんで、もう一寸解り易く書けませんか。あんまり重要な問題じゃないんですけど。

金子補佐: いえあの、当に青江委員、或いは委員長からあった様に、あの、やって行きたいと思っってますので、其の様にさして頂きたいと思っってます。

池上委員長: 何か、他ありますか? ...若し、御座いません様でしたら、じゃあ、どうも有り難う御座いました。

¹⁰ 日本語文法として、どちらも主語ではない。目的語句の中の主語格である。おかしい事はない。

¹¹ 少々歯に物が挟まっているが、「対外活動によってわが国の宇宙産業を発展させる。」と云う意味は、「宇宙産業界の輸出振興を支援する。」と同義になるが、其処まで書く事が出来ない為、婉曲に表現したいが為だろう。

¹² 何れにせよ日本国政府が主語である。「日本政府は……を国民から求められている。」と言っている。

¹³ 「日本政府の資金に依って或る対象を支援する。」事は明白なのであるが、其の対象が何かがはっきり書かれていない。東南アジアの友好諸国を支援するのか、日本の宇宙産業界を支援するのか。支援の為に資金を投じる決断は、其れに依るリターンを期待しての事であると言っ処から、支援を受ける東南アジア諸国は夫々「日本政府が描くりターン」を想定しようとして来たに違いない。其れには時間が掛る為、2 年経過すれば少しずつ「感謝している」と云う実感が得られるように変化して行くのだろう。